令和４年９月２１日

重金属・残留農薬等の分析費用支援のご案内について

　　米穀の輸出に当たっては、輸出先国の重金属や残留農薬等に係る基準値（以下「重金属・残留農薬等基準値」という。）や海外実需者が求める重金属や残留農薬等に係る基準値に適合する必要があることから、戦略的輸出事業者が輸出する日本産米を対象に重金属・残留農薬等の分析費用を令和３年度補正予算の「コメ・コメ加工品規制対応緊急対策事業」により下記のとおり支援いたします。

記

１　対象者

　　戦略的輸出事業者

戦略的輸出基地のうち日本産米を輸出するために戦略的輸出事業者等へ出荷する者

２　補助の要件

　　分析結果を一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（以下「全米輸」という。）に報告することが補助の要件となります。

３　補助の上限

 (1) 特段の事情がある場合を除き、戦略的輸出基地（産地）の年産・銘柄ごとに１検体までとします。

ただし、ＥＵにおいて、早ければ令和４年１２月に無機ヒ素の基準値の引き下げが見込まれているため、ＥＵ向け及び他国向けのコメ輸出への影響が生じないようにする必要があります。このため、ＥＵ向け輸出のための精米の無機ヒ素分析費用については、産地・年産・銘柄ごとに１検体までの制限を設けず、輸出の都度の申請も可能とします。

 (2) １検体当たりの上限

①　４(1)又は(2)の場合　５万円（消費税抜き）（補助率：定額）

②　４(3)の場合　　　　 ２万５千円（消費税抜き）（補助率：１／２以内）

　※　分析費用は補助しますが、サンプル費用（米代金）及び発送料は事業者負担でお願いします。

４　分析項目

 (1)　輸出先国における重金属・残留農薬等基準値が日本国内の基準値より低いもの

　　（例）トリシクラゾール(日本:3mg/kg(ppm)、EU:0.01mg/kg(ppm))

カドミウム(日本:0.4mg/kg(ppm)、香港・中国・台湾・シンガポール・EU:0.2mg/kg(ppm))

 (2) 日本国内では基準値が設定されていないが、輸出先国では重金属・残留農薬等基準値が設定されているもの

　　（例）無機ヒ素（精米）(香港・中国・台湾・シンガポール・EU：0.2mg/kg(ppm))

※EUの無機ヒ素の基準値は令和４年１２月以降に0.15mg/kg(ppm)に引き下げられる見込みです。

無機ヒ素（玄米）(香港・台湾・シンガポール：0.35mg/kg(ppm)、EU：0.25mg/kg(ppm))

(3)　(1)及び(2)には該当しないが、海外実需者の求めに応じて重金属や残留農薬等の分析を行うもの（日本国内の基準値より低い又は日本国内では基準値が設定されていないものについて求めがある場合に限ります。）

５　計画申請手続

　重金属・残留農薬等の分析費用支援実施計画書（様式１）（輸出先国、分析項目等（見積・料金表等を添付））を作成し、令和５年２月１５日までに全米輸へ申請して下さい。

全米輸にて審査の上、必要と認められる場合には全米輸が実施計画を承認します。

６　実施報告及び支払申請手続

　　重金属・残留農薬等の分析費用支援実施報告書及び支払申請書（様式２）（分析結果・領収書の写し等を添付）を令和５年３月１０日までに全米輸へ申請して下さい。全米輸が支払申請を審査・補助金支払いを実施します。

７　その他

戦略的輸出事業者又は戦略的輸出基地は、本事業の活用により支援を受けて行う取組のためのコメ・コメ加工品の輸出に当たり輸出先国の植物検疫や食品衛生に係る規制に関係する可能性のある問題が生じた場合には、全米輸及び農林水産省に対し、速やかに情報提供を行うものとします。

また、本事業の活用により支援を受ける戦略的輸出事業者又は戦略的輸出基地は、支援を受けることとなる取組の内容にかかわらず、上記問題が生じた場合には、全米輸及び農林水産省に対し、情報提供を行うこととします。

なお、当該情報提供を行ったことをもって、全米輸及び農林水産省が当該問題を解決することを約束するものではないことに留意してください。

|  |
| --- |
| 【お問い合わせ先】 一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会　事務局　仲地、伊藤 E-mail:jimukyoku@zenbeiyu.or.jp TEL:０３－５６４３－１７２０ |

（参考）

　１　国・地域別の残留農薬基準値（別添１）については、以下の農林水産省ホームページで情報提供しています。

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/zannou_kisei.html>

　　 上記の残留農薬基準値の基準値取得日は2022年２月１日となっていますので、最新の残留農薬基準値は、以下の各国・地域等のＭＲＬ確認Ｗｅｂサイト等をご活用下さい。

 https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/attach/pdf/zannou\_kisei-309.pdf

　２　各国におけるコメの重金属及び汚染物質の主な規制等（別添２）については、以下の農林水産省ホームページで情報提供しています。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome\_yusyutu/kome\_yusyutu.html#kisei

　　　この他にも、国によって食品添加物等の規制があるため、輸出前に輸出先国の関係法規を確認して下さい。

参照：ジェトロＨＰ「日本からの輸出に関する制度」

<https://www.jetro.go.jp/industry/foods/exportguide/>

　３　日本国内の重金属及び汚染物質の基準値

　　　カドミウム：0.4mg/kg(ppm)

 総アフラトキシン(アフラトキシンB1、B2、G1及びG2の総和)：10µg/kg(ppb))

 ※　基準値は各国・地域等のwebサイト等各種情報に基づいて作成しておりますが、正確性を保証するものではありません。

　　　本基準値は、調査時点の数値であり、その後変更されていることがあります。 輸出前に各自必ず輸出先国の関係法規を確認して下さい。